

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第1回弘前市文化財審議委員会議
開 催 年 月 日	平成29年8月31日（木）
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時から午後3時まで
開 催 場 所	岩木庁舎2階会議室1
議 長 等 の 氏 名	委員長 福井敏隆
出 席 者	委員長 福井敏隆 委員 岩瀬直樹 委員 内山淳一 委員 岡田俊治 委員 小松勇 委員 関根達人 委員 瀧本壽史
欠 席 者	委員 山田巖子
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	文化財課長 成田正彦 同課長補佐 村元広美 同課津軽歴史文化資料館整備担当主幹 鶴巻秀樹 同課主幹兼文化財保護係長 小石川透 同課主幹兼埋蔵文化財係長 岩井浩介 同課主事 佐藤俊介
会 議 の 議 題	(1) 有形文化財（建造物）「旧弘前教会牧師館」の指定の可否について (2) その他 1) 無形文化財調査候補について 2) 平成29年度弘前市の文化財保護行政について
会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	旧弘前教会牧師館について 當田流劍術について 平成29年度弘前市文化財の公開活用事業の取り組み状況
会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	別添議事録のとおり

【会議内容要旨】

議題（１）有形文化財建造物「旧弘前教会牧師館」の指定の可否について

岡田委員 旧弘前教会牧師館の部材の状況について、すべての部材でおよそ250あると考えられる。小屋に入って手で触れたもの、目視で確認できたものについての話になるが、柱、梁、屋根部材などの主要部材については、保存状態が良かった。ほぞ穴部分については中に虫がいる可能性もあるため、復原時に多少手を加える可能性があるが、部材そのものは支障なく復原できると思われる。

福井委員長 私も保存状態は良いように感じた。弘前駅から大町方面を經由して、旧弘前偕行社や旧藤田家住宅などの方面へいく際のターニングポイントとして、松森町ふれあい広場に復原することは良いことではないか。

関根委員 復原予定場所について、松森町ふれあい広場は羽州街道沿いでこみせが連続して建ち並んでいるため、牧師館のような洋風建築は馴染まないのではないかと思う。たとえば吉野町の煉瓦倉庫の周辺であれば、中央弘前駅などの景観に合うのではないか。

瀧本委員 弘前駅を出た方がまっすぐ進み、牧師館の建物がここにあった場合、まず、なぜここにあるのか立地場所と建物の関係性について考えることになると思われる。街の雰囲気壊れてしまうような気がする。

関根委員 吉野町のあたりであれば、昇天教会も近くにあり雰囲気が合うのではないか。

事務局 タウンミーティングの中でも吉野町のあたりに復原したほうが雰囲気が合うのではないかという意見があった。ただ、事業の趣旨は景観の「刷新」なので、街中に1つのシンボリックなものを置いて観光ルートをつくっていく考え方で進めており、所管課の都市政策課では、できれば松森町ふれあい広場に復原したいと考えている。

福井委員長 国交省の狙いはインバウンド対策にある。東京オリンピックまでの3年間の事業期間の中で、都市政策課では弘前公園、弘前駅前、禅林街の3つのエリアを整備区域として考えている。その中で考えたとき、弘前駅から旧弘前偕行社方面へ行く途中になにかポイントとなるような建物があればということでこの場所が候補地にあがっている。黒沼質店や少し距離はあるが、高木静一商店への動線としても多少は期待できるのではないか。

内山委員 復原した後、元々牧師館があった場所には復原場所への案内を促すような看板などを設置すると思うが、元々牧師館があった場所から復原場所までは歩いて行ける距離なのか。

事務局 歩いていくのは難しい距離かと思う。なにかしらの交通機関を使っていくことになると思われる。

内山委員 復原後に、歩いていける距離のところは復原したほうがよかったのではないかという話になると思うので、なぜここに復原したのかということをしっかり整理しておく必要がある。

福井委員長 復原場所についてはいくつか意見が出たが、今後、方針がある程度まとまった段階で再度審議する。

議題（２）その他

１）無形文化財調査候補について

事務局 弘前藩伝来の古武術である「當田流劍術」の現宗家の竹内文隆氏から、文化財指定を受けたいという申し出があった。現在継承されている目録類は、１５代宗家であった寺山龍夫氏が亡くなられた後、１６代宗家の竹内大氏へ継承されている。それ以外のもは寺山氏の生家である浅利家で持っているようだ。伝承者が非常に少ないことから、文化財指定を受けることで広く周知したいとのことだった。

瀧本委員 竹内家と浅利家の現在の関わりはどのような状況なのか。

事務局 目録を引き継いで以降、関わりはないと聞いているが、浅利家で劍術に係るなにかしらの資料は持っているようだ。

内山委員 昭和４１年に文化財指定申請書が提出されて以降は、審査の対象にはならなかったのか。

事務局 ならなかった。

小松委員 他県で當田流劍術は残っているのか。

福井委員長 調べてみないとわからないが、ト傳流劍術については他県では残っていなかった。今後、申請書の提出を受けた段階で、調査担当の委員を決めたい。

２）平成２９年度弘前市の文化財保護行政について

事務局から、平成29年度弘前市文化財の公開活用事業の取り組み状況について、8月31日現在までの活動状況を報告。

- ① 旧石戸谷家住宅の復原工事現場見学会について
- ② 文化財庭園保存技術実技技能研修及び文化財庭園フォーラムについて
- ③ 東目屋小学校の5・6年生15人を対象とした体験発掘授業について
- ④ 堀越小学校の子どもたちを対象とした史跡堀越城跡整備現場体験学習について
- ⑤ 津軽塗の重要無形文化財指定の答申について
- ⑥ 「岩木山」をテーマとした文化財講座について
- ⑦ ちびっこ縄文講座について
- ⑧ 大森勝山じょうもんまつりについて
- ⑨ 歴史体感ツアーについて
- ⑩ 『弘前の文化財』の有償頒布について

直近では、9月30日に砂沢遺跡シンポジウムの開催や、石垣解体現場を市内の小学6年生に見学してもらう企画などを予定している。